

2020年度学術研究活動支援事業（「復興知」事業）（重点枠）採択結果一覧（申請受付順）

（単位：千円）

番号	大学等名	学部・研究科等名	事業責任者名	共同申請大学等	事業名	事業のポイント	連携市町村（予定も含む）	補助金内示額	継続又は新規
1	長崎大学	福島未来創造支援研究センター	理事 赤石 孝次	福島県立医科大学、福島大学、東日本国際大学	災害・被ばく医療科学分野の人材育成による知の交流拠点構築事業	長崎大学が復興推進拠点を設置している川内村、富岡町や大熊町において、福島県立医科大学や福島大学、東日本国際大学といった福島県下の大学、さらに国際機関と連携して国内外の災害・被ばく医療科学の専門家を育成する「復興知を学ぶ」知の交流拠点を浜通りに構築する。	川内村、富岡町、大熊町（予定）	36,000	継続
2	東京大学	アイソトープ総合センター・農学生命科学研究科	アイソトープ総合センター・教授 秋光 信佳	福島工業高等専門学校	福島復興知学の構築・展開・加速事業	東京大学内の8部局、福島大学、福島工業高等専門学校が協力して福島復興知学講義の実施、教科書制作を行う。また、浜通り東大拠点ネットワーク活用した学生実習や共同研究を行う。さらに、国際化の取り組みや放射線に関する独自の教育研究も推進する。	楡葉町、飯舘村、広野町、いわき市、南相馬市	45,000	継続
3	福島大学	農学群 食農学類	農学群 食農学類・教授/学類長 生源寺 真一	なし	福島発「復興知」の総合化による食と農の教育研究拠点の構築	震災から10年が迫る中、復興事業の見直しが進み、復興支援活動・研究の規模・多様性が急速に失われつつある。本事業は福島大学が“扇の要”となり、全国の大学と連携し、『復興知』として食と農の知見を体系化するとともに、被災地へと還元することで福島イノベーション・コースト構想や福島の復興に資する人材育成を行う。	南相馬市、川内村、飯舘村、大熊町	39,000	継続
4	東北大学	未来科学技術共同研究センター	センター長・教授 長谷川 史彦	東京大学、明治大学	モビリティ・イノベーション社会実装・産業創生国際拠点の構築	モビリティ・イノベーション連携会議に参画する大学・研究機関メンバーを中核に、産学共創による拠点を構築し、次世代モビリティ（自動運転、EV、コネクテッドモビリティ、新サービス（いわゆるCASE））の社会実装と新産業創出・人材育成およびそれらによる国際連携を推進する。	南相馬市、浪江町	40,000	新規 （2019年度、一般枠で採択）

160,000